

令和6年度

障がい児者・救護施設課程 基礎コースⅡ

利用者の権利を守るために 職員や組織に大切な視点とは

本研修は、よりよい利用者支援を目指し、専門性の向上や多面的な視点を習得し
自分自身のステップアップを図る機会とすることを目的に開催します。

対象

障がい児者・救護福祉施設に勤務している、**基礎コースⅠ**を
受講された方、または**5年以下**で研修内容に関心のある職員

POINT /
01

福祉の仕事に誇りを持つ

- ・客観的視点を持ち、広い視野で支援を考える
- ・メンタルヘルス
- ・リスクマネジメント
- ・虐待と人権、身体拘束の適正化
- ・ICTの活用(業務効率化・安全安心の向上)

POINT /
02

相談支援と地域連携

- ・サービス等利用計画について
- ・本人の意思決定・事業所の役割
- ・専門的視点を持つ(意味のある「支援」とは)
- ・障がい特性の理解、生活の困りごと
- ・合理的配慮・自立のために必要なこと

定員

40名(先着)

申込締切

10月4日(金)

日時

10月28日(月)
10:00~16:30

受講料

5,000円(振込)

会場

大阪社会福祉指導センター4階 研修室1
(大阪府中央区中寺1-1-54)

- ◆申込締切までに下記「[研修申込フォームはこちら](#)」をクリックしてお申し込みください。
※定員に達し次第締め切ります。
受講可否は締切後、1週間以内にメールでご連絡差し上げます。

研修申込フォーム
はこちら

プログラムの詳細や
過去の受講者の声は
次頁をご参照ください

障がい児者・救護施設課程 基礎コースⅡ 研修プログラム(予定)

時間	コースの概要	講師
10:00~12:30 (途中休憩あり)	福祉の仕事に誇りを持つ <ul style="list-style-type: none"> ・客観的視点を持ち、広い視野で支援を考える ・メンタルヘルス ・リスクマネジメント ・虐待と人権、身体拘束の適正化 ・ICTの活用(業務効率化・安全安心の向上) 	NPO法人だんでらいおん 理事長 久保 哲哉 氏
12:30~13:30	昼休憩	
13:30~16:30 (途中休憩あり)	相談支援と地域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画について ・本人の意思決定 ・事業所の役割 ・専門的視点を持つ(意味のある「支援」とは) ・障がい特性の理解、生活の困りごと ・合理的配慮 ・自立のために必要なこと 	NPO法人サポートグループ ほわほわの会 代表理事 宮崎 充弘 氏

話の内容が事例を含めながらで、大変分かりやすかったです。業務に追われる中で、こういった研修を受けることによって改めて基本を確認、大事な事に気づかされました。

福祉の法律や施策などが変化していることなどを知れて勉強になった。利用者と共に支援者のQOLも上げていくというところに共感することが出来ました。

過去の 受講者の声

日々の業務をこなすことに精一杯で対人援助をするうえで大切な行動規範や価値を忘れがちになってしまっていたので、今回再確認することができた。



一人ひとりの利用者様に対し毎日の生活の中で小さな変化や新しい一面等にしっかりと目を向け支援し、その気付きからアイデアへ様々な取り組みを重ね、利用者様一人一人の生活スキルの向上を手伝える支援者でありたいと思いました。

お問い合わせ

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
研修グループ【神谷・井藤】TEL:06-6762-9035
<https://www.osakafusyakyo.or.jp/kensyu-c/>

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、引き続き安心して皆様にご受講いただける環境を整えてまいります。研修申込みされる皆様におかれましてもご協力くださいますようお願い申し上げます。

■安心できる受講環境のために

- ・各事業所におきましても、引き続きの感染対策をされていることと存じます。お互いに安心して研修を受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・本センターとしては、会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。また、休憩時等、定期的な換気を行います。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りいただきます。

なお、地震・台風など自然災害等により、やむを得ず研修を中止または延期させていただく場合がございます。

中止または延期させて頂く場合は、速やかにご連絡させていただきます。